



オーストラリア最新金融・経済環境、豪ドルの見通し ～適温相場の終焉、保護主義の強まりで、豪州に漁夫の利も

- 対米での豪ドル相場は、豪米金利差より潜在成長力などに焦点を移す可能性
- 商品市況は足元堅調さを強め、引き続き豪州経済、豪ドルの追い風
- 米国の保護主義強化が懸念される一方、豪州への影響は限定的

POINT 1 薄れる豪米金利差と豪ドル相場の関係

- 米国の利上げにより縮小傾向にあった豪米10年国債の金利差は約-0.1%と逆転していますが、**市場は金利差より潜在成長力等に焦点を移しています。**
- 豪州での利上げ観測は後退していますが、7日に発表の豪GDP成長率(2017年第4四半期・年率)は+2.4%となり、**世界最長の景気拡大**が続いています。一方米国では利上げペースの加速が米景気にブレーキになるとの懸念が浮上しています。
- IMFや民間エコノミストの成長予測で豪州は米国を上回っており、豪米の景気サイクルの違いからも、豪ドル資産が再評価される可能性があります。

POINT 2 堅調な商品市況が豪経済、豪ドルの追い風

- 2018年に入り、鉄鉱石など商品市況が再び強含んでおり、豪経済と豪ドルを下支えしています。
- 中国は量より質を重視した成長を目指しています。大気汚染の対応として生産調整が実施されましたが、豪州に対するプラスの影響も見られています。
- インフラ整備など鋼材需要が増加したことにより、中国は生産効率を高めるため、**高品位の豪州産鉄鉱石の輸入が増加**しています。

POINT 3 米関税政策の豪州への影響は限定的

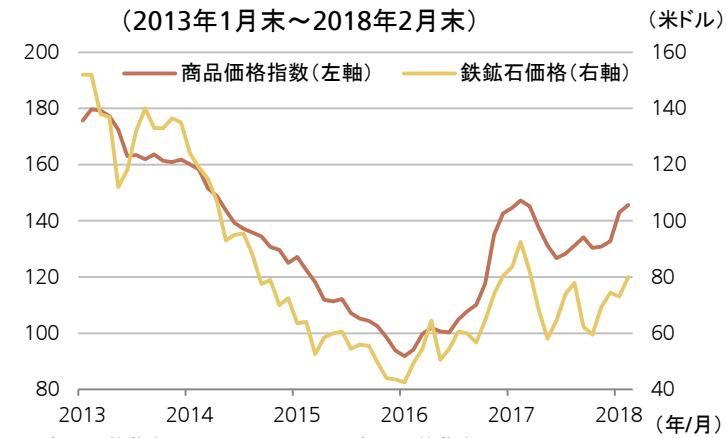
- 足元、トランプ大統領は鉄鋼とアルミに輸入関税を賦課すると表明し、保護主義色を強めています。
- **米国の豪州からの輸入は全体のわずか0.4%に過ぎず**、直接的な影響は限定的と見られます。米国が欧州や中国との貿易摩擦を強めた場合、豪州資産は逃避先として注目される可能性があります。
- 豪州は、貿易構成に加え、国家安全保障上でも対米政治リスクが低いと見られています。豪州と米国は、中国の「一带一路」に対抗し、「インド太平洋戦略」における準同盟網の強化を進めています。

【図1】豪米金利差と豪ドル/米ドルの推移



*豪米金利差:豪10年国債利回り-米10年国債利回り

【図2】商品価格指数、鉄鉱石価格の推移



*商品価格指数:オーストラリアRBA商品価格指数(SDRベース)

*鉄鉱石価格:鉄分62%のオーストラリア産鉄鉱石の中国向け価格。

【図3】米国の輸入相手国(2016年)

(世界からの輸入額に対する各国の割合)

順位	国	構成比
1	中国	21.4%
2	メキシコ	13.2%
3	カナダ	12.6%
4	日本	6.0%
5	ドイツ	5.2%
31	オーストラリア	0.4%

出所:トムソン・ロイター、UNCTAD(国際連合貿易開発会議)のデータを基に当社にて作成。
上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

■過去の為替レートの推移

(2013年1月末～2018年2月末)

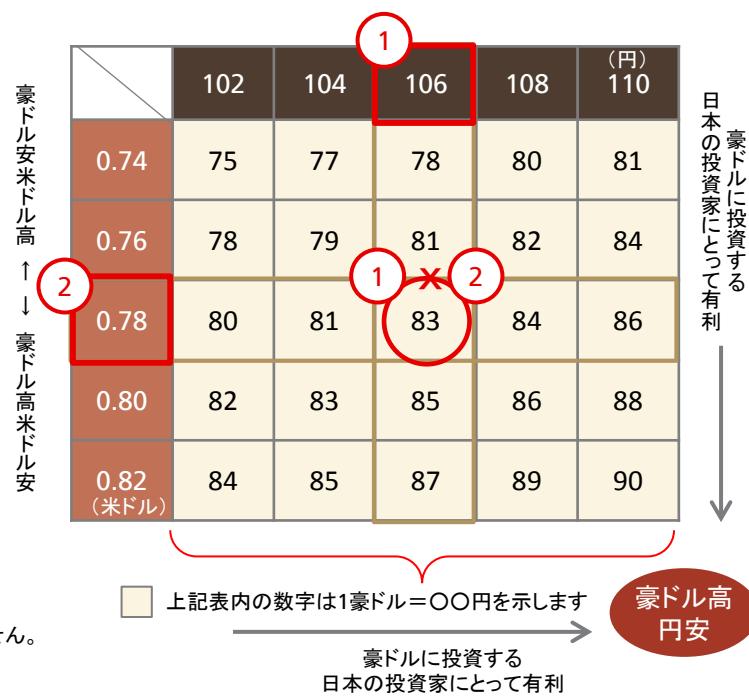


出所:トムソン・ロイターのデータを基に当社にて作成

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

■円/豪ドルのクロスレートイメージ

米ドル安円高 ← → 米ドル高円安



本資料ご使用にあたってのご留意事項

投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面でご確認ください。

なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、UBSアセット・マネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

投資信託のリスクについて

投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。

投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。

※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

投資信託の費用について

投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

【直接ご負担いただく費用】

- ・購入時: 購入時手数料 上限3.78%(税抜3.50%)

- ・換金時: 信託財産留保額 上限0.3%

【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】

- ・運用管理費用(信託報酬) 上限約2.4839%(税込)(ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む)

- ・その他の費用(監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等)をご負担いただきます。

※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

商号

UBSアセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会

一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会